

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束廃止や虐待防止に対してのホーム内での勉強会等の機会が少ない。	職員全員が利用者の尊厳を尊重し、身体拘束禁止・虐待防止に対しての正しい知識を理解し、悲母のケアに取り組みことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員(権利養護委員)を決める。</li> <li>・委員を中心に勉強会を開催する。2～3ヶ月に1回</li> <li>・毎月のケアカンファレンス時不適切なケアが行われていないか話し合う。</li> </ul>	5ヶ月
2	33	看取り支援後、管理者・計画作成担当者・主任のみでしか振り返りの機会を持つことができていない。	職員全員で本人を偲びながら看取り支援後の振り返り(カンファレンス)を行う。「出来たこと」「出来なかったこと」を話し合い、ケアを見直し、今後のケアの質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員を中心に、看取り後1ヶ月以内にカンファレンスを行う。</li> <li>・カンファレンス前までに全職員に「看取りケア確認シート」アンケートを取る。</li> <li>・記録を取り、全職員が共有できるようにする。</li> </ul>	1ヶ月
3	35	防災対策委員会を中心に、安全管理に取り組み、コンセントチェックで埃も確認はしているが、記録の項目に「埃」がない。	日々行っている自主点検チェック表に「埃」の項目を追加し、日頃から防火への意識を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームで行っている日々の自主検査チェック表の「電気器具の配線老朽化・損傷」の項目に「埃」を追加する。</li> </ul>	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。